

2016年2月度 家計分析

提出者数 149名の提出がありました。登録者は163名、提出率は91.4%です。前年比12名の減ですが、登録者そのものも前年度より17名減っています。そして前月比では5名の減となっています。

収入 給料は前年比で(夫)95.1%、(妻)99.0%です。年金は(夫)111.4%、(妻)111.1%となっています。これは年金世帯の全調査世帯数に占める割合が徐々に増えているためと思われます。パートアルバイト収入(夫)については前年比199.3%ですが、これを押し上げているのは60代と年金世帯です。このことから非正規であっても働けるうちはできるだけ働いておこうというシニア層の考え方、暮らしぶりが見てとれます。学資保険の満期金、入院給付金等の各諸手当を受けた方がたくさんおられたので、その他収入が126.4%と伸びています。

非消費支出

税金、社会保険
私的保険

前年比で税金計106.0%、社会保険計107.2%でした。収入とは関係なしに社会保険料がこれから益々増え続け家計を圧迫するでしょう。今後は通信費や保険料などの固定費を定期的に見直すことが必要となってきます。私的保険が前年比マイナスであるのは、個人年金や生命保険において一時期のように貯蓄性の面で大きなメリットが感じられないことも要因のひとつです。所得税(妻)のところで追加徴収があり、国民年金(学生の子)で一括払いをされた方がおられたので、それぞれ前年と比べて大きく増えています。

消費支出 食費は前年比100.8%とほぼ同水準で、水・光熱費も93.2%と節約傾向にあります。増えているのは交際費と教育費と被服費です。交際費を押し上げているのはいつもながら60代と年金世帯です。この年代は律義で義理固く人付き合いを重んじる暮らしぶりが今月も見えてとれます。教育費について2月は受験シーズン真最中であり、試験や入学準備費用が多く計上されています。被服費には卒業式の着付けやレンタル代、新卒スーツやブラックフォーマル等の費用が含まれています。

ランキング

	総 合	20～30代	40代	50代	60代	年金世帯
1	食費 66247	家地 61847	教育 89750	社保 81567	食費 62673	食費 61768
2	社保 61326	社保 51297	食費 70346	食費 74402	社保 47544	社保 46252
3	税金 39773	食費 49779	社保 70258	家地 62411	教娯 38453	教娯 39613
4	教育 39112	私保 38836	家地 57838	税金 52322	交際 32624	交際 32248
5	家地 34339	教育 36796	税金 45086	教育 49447	税金 32234	住居 28531
6	教娯 30427	税金 28567	私保 34154	職主 47565	住居 26832	税金 28426
7	職主 29730	職主 24946	職主 29883	私保 42341	水光 25954	水光 25734